

第 2 回
谷村第一小学校・都留文科大学附属小学校
統合準備委員会資料

令和 7 年 1 0 月 3 日（金）午後 6 時 3 0 分から
教育プラザ都留 3 階 大研修室

1. スクールバスについて（スクールバス検討部会報告）

（1）スクールバスの利用範囲について

現附属小学校区をスクールバスの対象とする。ただし、熊井戸団地については、次の理由により対象としない。

- ① 乗降場所（最寄りのバス停）までの通学ルートของ安全性に不安がある。
- ② 現状で、附属小へ通学する児童が無く、熊井戸地区の児童と一緒に谷一小へ登校している。
- ③ 統合後は、熊井戸地区と熊井戸団地は同じ学区となり、同一エリア内で熊井戸団地だけスクールバスの対象とするのは矛盾が生じる。

（2）運行ルート等について

- ① 権現原団地方面へ迂回するルートは、対向車とのすれ違いが困難な場所が多数存在するため県道24号都留道志線を運行ルートとする。
- ② 乗降場所は、路線バス停を基本としつつ、安全面を考慮しスクールバス運行事業者と協議の上、決定する。

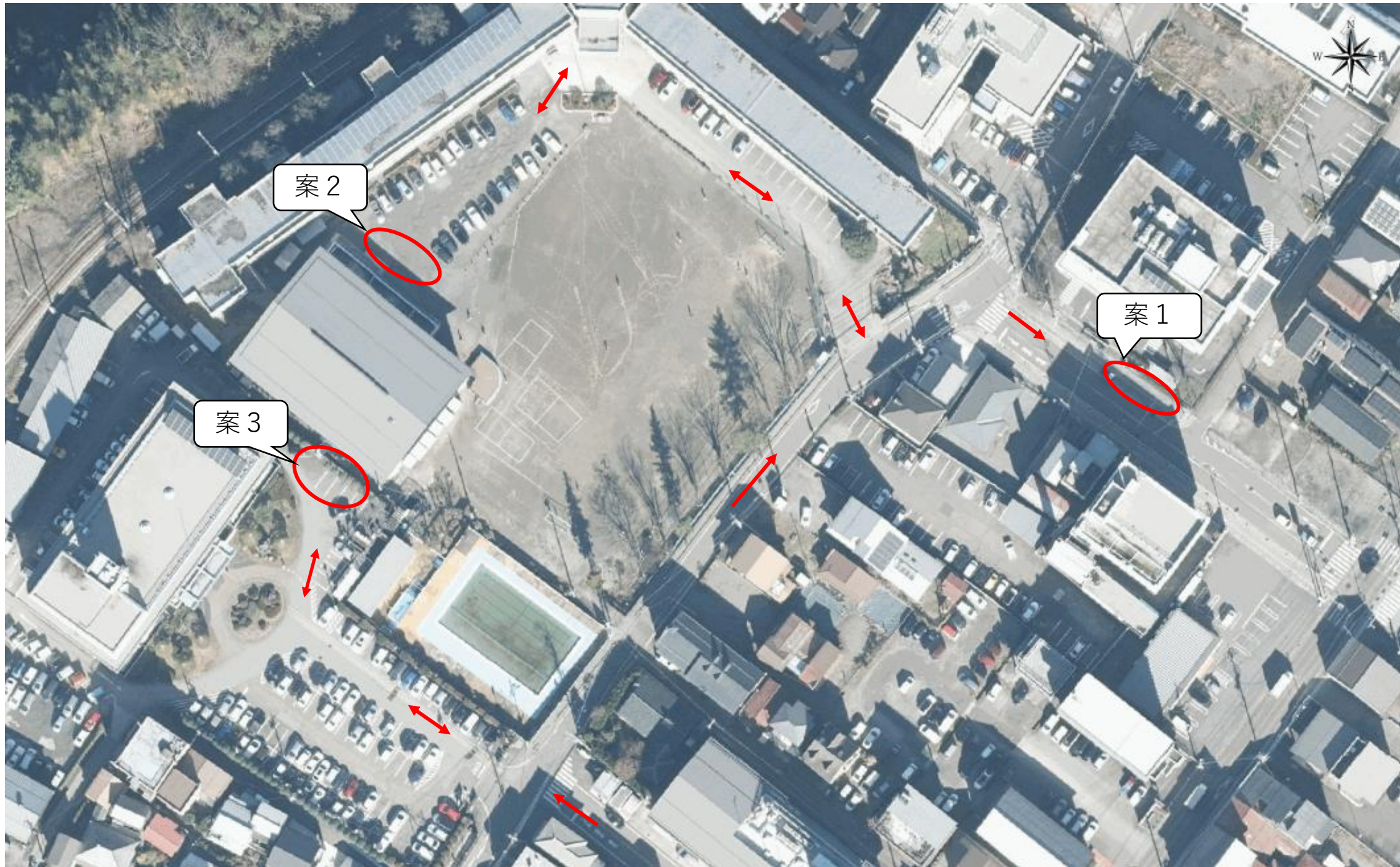
富士急バス 路線バス停位置図



(3) 谷村第一小学校側乗降場所について

下記3つの案について検討した結果、案3「市役所駐車場元気くん前」を乗降場所とすることが望ましい。

候補場所	メリット	デメリット	課 題	学校（谷一小）の意見	安全面	コスト面
案1 裁判所前市道	<ul style="list-style-type: none"> 道路幅が広く乗降ゾーンが確保できる。 歩道の小規模改良のみで、費用は抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所の設置により歩道が狭隘になり、歩行者の通行に影響する。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所から学校までの間の安全管理 学校前交差点の横断歩道等の改良 下校時の乗車予定児童の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道を削り込んだ乗降場所のため、バス停側の歩道を通学する児童への影響や、校門までの安全性において不安がある。 下校時の教員の対応も負担が大きい。 	○	○
案2 校内体育館横	<ul style="list-style-type: none"> 学校敷地内で乗降できるので、バス乗降の利便性が高い。 特に改修の必要性はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の出入りが多い正面玄関前をバスが往来し、体育館横で方向転換するため、安全面に不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> バス侵入時の安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の動線が教職員の車両やバスの動線と交錯するリスクが高い 	△	◎
案3 市役所駐車場 元気くん前	<ul style="list-style-type: none"> 体育館横から乗降場所へ直接出入りできるルートがあるため、安全が確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの停車場所を確保するため、市役所駐車スペースが4台分潰れる 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所駐車場が混雑する際のバス侵入時の影響 バス発着場所の表示 冬季における階段の安全対策（滑り止め、屋根設置など検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安全面と教員対応の面で最適 	◎	○





案3 市役所駐車場元気くん前



マイクロバス
全長7m 幅2.1m

学校への通路（階段）



2. 統合後の校名等について（総務WG検討報告）

（1）校名 都留文科大学附属 都留市立 谷村第一小学校

谷村第一小学校の校名を継承し、都留文科大学の附属小学校としての位置づけを明記する。

（2）校歌 谷村第一小学校の校歌を継承する。

谷村第一小学校校歌

作詞 吉田 弘 作曲 井上武士

1. 春はあけぼの 不二の嶺 花にあけゆく 城山の
礎固き 伝統に 文化の薫り 馨しく
谷村第一小学校

2. 若鮎躍る 桂川 清き流れに 日新の
つきせぬ教え 汲み交わす わが友垣の 常若に
谷村第一小学校

3. 根差しも深き 大杉の 梢にひびく 箴の音
生産の歌 遅しく 平和の道を 一筋に
谷村第一小学校

(3) 校章 谷村第一小学校の校章を継承する。

(4) 校旗 谷村第一小学校の校旗を継承する。

(5) 校名プレート 校門と正面玄関上の校名プレートに「都留文科大学附属」を加える。

